

3 各都市像別の分析と取組

以下では、都市像ごとに、財務情報の分析と主な取組みを紹介しています。

(1) 都市像別の有形固定資産及び行政コストの割合

荒川区では、概ね 20 年後の将来像として「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、平成 18 年度に荒川区基本構想（以下「基本構想」という。）を策定し、平成 29 年度には基本計画の見直しを行いました。

以下では、「基本構想」で定めた都市像ごとに、行政コスト財務情報のほか、行政評価システムで測定している区民サービス指標等を掲載しています。

都市像	目指す方向性
①生涯健康都市	区民一人一人が、生涯にわたって心身ともに健康で生き生きと過ごせるまちを目指します。また、高齢者や障がい者を含め、誰もが安心して暮らせる活気ある地域社会を目指します。
②子育て教育都市	子育て環境の充実を図り、子育て世代が働きやすく、安心して子どもを生子、育てられるまちを目指します。また、心豊かにたくましく学び、生きる子どもを、地域社会全体で育むとともに、生涯にわたって学ぶことができるまちを目指します。
③産業革新都市	モノづくり産業を中心とした区内の産業集積を生かしつつ、社会経済状況の変化を踏まえた産業構造の転換への対応や、新産業の創出を支援するとともに、商業の振興を図り、地域経済が持続的に発展するまちを目指します。また、区内の観光資源を積極的に情報発信することにより、人を引き付ける魅力あるまちを目指します。
④環境先進都市	地球環境を守るため、内外から注目される先進的な地球温暖化・ヒートアイランド対策を、地域ぐるみで積極的に推進するまちを目指します。また、隅田川や公園など、水と緑に恵まれた良好な居住環境や美しい街並みを大切にした景観の形成に配慮したまちを目指します。

⑤文化創造都市	伝統文化の継承と新しい文化の創造とが調和している多彩なまちを目指します。また、あらかわのまちに息づく連帯感や助け合いの心、下町らしい人情味あふれるコミュニティを最大限に生かして、地域の連携と協働が活発に行われるまちを目指します。
⑥安全安心都市	都市基盤の整備を着実に進めるとともに、地域コミュニティが機能している荒川区の強みを最大限に生かし、ハード、ソフトの両面から、災害に強い安全なまちを目指します。また、地域ぐるみでの防犯活動や交通安全対策を通じて、犯罪や事故のない安心して暮らせるまちを目指します。
⑦計画推進のために	上記6つの都市像の実現に向け、区民参画・協働の推進や区政に関する情報提供の拡充を図るとともに、健全な財政運営や職員育成の充実などに努め、区民に信頼される質の高い区政を推進していきます。

※ 行政評価で対象としている事務事業を集計しているため、一般会計財務諸表、各特別会計財務諸表の合計とは一致しません。

I 生涯健康都市

生涯健康で生き生きと生活できる まちの実現

- 親子の健康推進【再掲】
- 児童生徒の健康づくりと体力向上【再掲】
- 青壮年期の健康増進
- 介護予防の推進【再掲】
- 高齢者の社会参加の促進【再掲】
- スポーツの推進【再掲】
- 健康危機管理体制の整備
- 地域医療の充実
- 健康を支える保険・医療体制の適正な運営

高齢者や障がい者が 安心して暮らせる社会の形成

- 高齢者の社会参加の促進
- 介護予防の推進
- 高齢者の在宅生活の支援
- 介護サービス基盤の充実
- 高齢者の住まいの確保
- 在宅医療・介護の連携推進
- 障がい者の相談・支援体制の充実
- 障がい者の住まい・日常生活に対する支援
- 障がい者の就労支援・生きがいの創生
- 障がいのある子どもの健全育成
- バリアフリーの推進
- 低所得者の自立支援
- 福祉の基盤整備

II 子育て教育都市

子育てしやすいまちの形成

- 多様な子育て支援の展開
- 保育・幼児教育の環境整備と質の向上
- 子どもの貧困対策とひとり親家庭等への支援
- 児童相談所の設置及び円滑な運営
- 親子の健康推進
- 小児医療の充実

心豊かにたくましく生きる子どもの 育成と生涯学習社会の形成

- 確かな学力の定着・向上
- 創意と工夫にあふれた教育の推進
- 体験学習等の推進
- 児童生徒の健康づくりと体力向上
- 魅力ある教師の育成
- 学校施設等の整備
- 小中学校・幼稚園の運営
- 余暇を利用した学習機会の提供
- 地域と連携した学校づくり
- 子どもの健全育成
- 家庭教育の支援と地域教育力の向上
- 生涯学習活動の支援
- 地域文化とコミュニティの拠点づくり【再掲】

III 産業革新都市

活力ある地域経済づくり

- 産業基盤の整備・充実
- 創業・新事業創出の支援
- 企業経営革新の支援
- 活気あふれる商店街づくり
- 魅力あふれる個店づくり
- 就労・人材確保の支援
- 消費生活の安全安心の確保

人が集う魅力あるまちの形成

- 観光資源の発掘とにぎわいの創出
- 受入体制の充実と観光情報の発信

幸福実感都市 あらかわ

IV 環境先進都市

地球環境を守るまちの実現

- 温暖化対策の推進
- 資源循環型社会の形成
- ごみの適正処理の推進

良好で快適な生活環境の形成

- 緑とうるおい豊かな生活環境づくり
- 快適な居住環境の形成
- 快適な生活道路の整備
- まちの美化の推進
- バリアフリーの推進【再掲】

V 文化創造都市

伝統文化の継承と都市間交流の推進

- 芸術文化の振興
- 国内・海外都市との交流の推進
- 伝統的文化の保存と継承

活気ある地域コミュニティの形成

- 地域活動の支援と人材育成
- 地域文化とコミュニティの拠点づくり
- 「読書のまちづくり」の推進
- スポーツの推進
- 青少年健全育成運動への支援
- 人権・平和の普及啓発

VI 安全安心都市

防災・防犯のまちづくり

- 災害時における体制の強化
- 防災基盤の整備
- 災害に強い街づくりの推進
- 犯罪をゆるさないまちづくりの推進
- 交通安全対策の推進

利便性の高い都市基盤の整備

- 快適な市街地環境への誘導
- 都市計画道路の整備
- 交通環境の整備
- 市街地再開発事業等の推進

VII 計画推進のために

区民の主体的な区政参画と連携強化

- 区民参画・協働の推進
- 広聴機能の充実
- 選挙の執行
- 議会運営

積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進

- 区政に関する情報提供の拡充
- 窓口サービス等の充実
- 事務の適正・公正な執行
- 統計・調査の推進
- 各種団体等との円滑な連携
- 監査機能の充実
- 事務の共同処理

目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進

- 戦略的な政策形成と行政改革の推進
- 健全な財政運営
- 税収の安定的な確保
- 人材の活用と職員育成の充実
- 情報システムの適正な整備と安全確保
- 公共施設等の効率的な活用と適正な管理

凡例

政策

重点施策

通常の施策

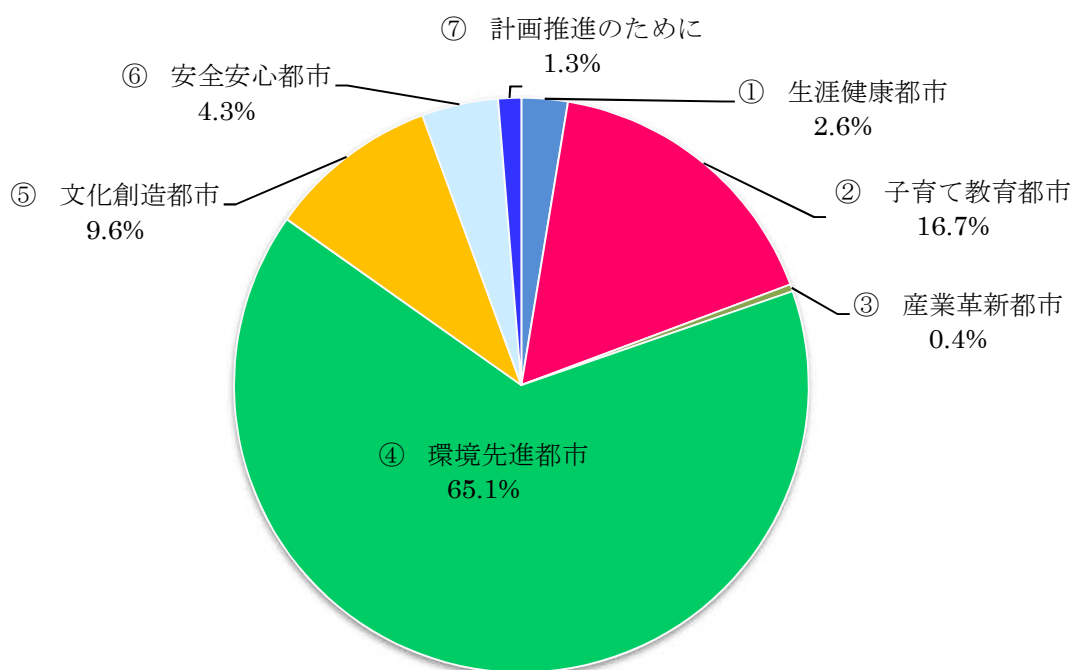
① 有形固定資産の都市像別割合

有形固定資産の都市像別割合を見ることにより、都市像別の公共資産形成の比重を把握することができます。荒川区では、道路や公園が含まれる「環境先進都市」の分野の割合が約 65.1%と最も高く、保育園や小学校が含まれる「子育て教育都市」の分野の 16.7%と合わせると 81.8%になります。対して、区内事業者等への融資や観光事業が中心の「産業革新都市」の分野は、所有している施設等が少ないため、割合は低くなっています。荒川区の資産整備は、道路や公園などのインフラ整備、小中学校などの教育施設の整備を中心に行ってきたことが分かります。

<有形固定資産の都市像別割合>

都市像	令和2年度		令和3年度		差額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
① 生涯健康都市	9,867	2.8%	9,537	2.6%	-330	-0.2%
② 子育て教育都市	56,265	16.2%	59,023	16.7%	2,758	0.5%
③ 産業革新都市	1,405	0.4%	1,359	0.4%	-46	0.0%
④ 環境先進都市	229,190	65.5%	230,285	65.1%	1,095	0.4%
⑤ 文化創造都市	30,769	9.2%	33,817	9.6%	3,048	0.4%
⑥ 安全安心都市	14,899	4.3%	15,056	4.3%	157	0.0%
⑦ 計画推進のために	5,683	1.6%	5,082	1.3%	-601	-0.3%
有形固定資産合計	348,078	100.0%	354,159	100.0%	6,081	-

【有形固定資産の都市像別割合（令和3年度）】



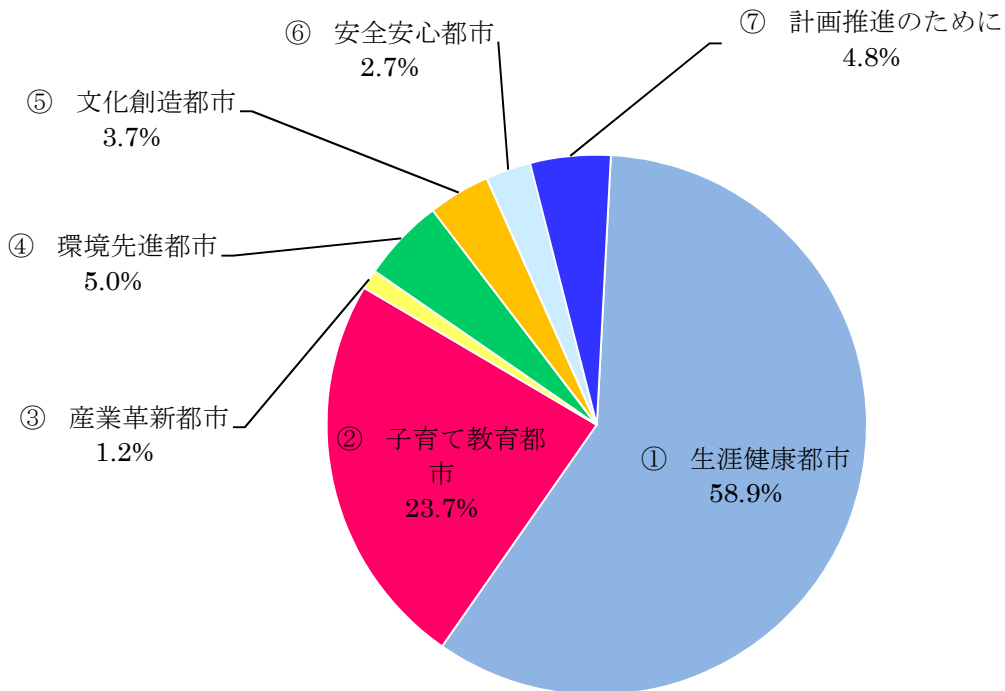
② 行政コストの都市像別割合

行政コストの都市像別割合を見ることにより、都市像ごとの行政サービスを提供するために消費したコストの比重を把握することができます。荒川区では健康、福祉分野に当たる「生涯健康都市」の分野が58.9%と最も高くなっています。

(単位：百万円)

都市像	令和2年度		令和3年度		差額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
① 生涯健康都市	69,032	48.8%	74,198	58.9%	5,166	10.1%
② 子育て教育都市	28,282	20.0%	29,927	23.7%	1,645	3.7%
③ 産業革新都市	1,064	0.8%	1,489	1.2%	425	0.4%
④ 環境先進都市	6,210	4.4%	6,258	5.0%	48	0.6%
⑤ 文化創造都市	4,606	3.3%	4,680	3.7%	74	0.4%
⑥ 安全安心都市	3,678	2.6%	3,412	2.7%	-266	0.1%
⑦ 計画推進のために	28,452	20.1%	6,053	4.8%	-22,399	-15.3%
行政コスト合計	141,324	100.0%	126,017	100.0%	-15,307	-

【行政コストの都市像別割合（令和3年度）】



(2) 各都市像別の財務データ分析と取組状況

① 生涯健康都市

この都市像には、高齢者福祉や障がい者福祉、生活保護等の福祉分野と、感染症や生活習慣病等の予防や食の安全といった健康分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策 01 生涯健康で生き生きと生活できるま ちの実現	0	0
政策 02 高齢者や障がい者が安心して暮ら せる社会の形成	9,867	9,537
有形固定資産合計	9,867	9,537

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策 01 生涯健康で生き生きと生活できるま ちの実現	30,457	34,506
政策 02 高齢者や障がい者が安心して暮ら せる社会の形成	38,575	39,692
行政コスト合計	69,032	74,198

- 「生涯健康で生き生きと生活できるま
ちの実現」では、行政コストの約8割を国民健康保険等へ
の医療給付の補助費が占め、ワクチン接種を含むコロナ対応に係る物件費が増加しました。
- 「高齢者や障がい者が安心して暮ら
せる社会の形成」では、高齢者や障がい者、低所得者への支
援を行っており、約5割を主に低所得者の生活や住宅、医療に対する手当等の扶助費が占め、約
4割を主に介護サービス給付費等の補助費が占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 新型コロナウイルス感染症対策として相談体制の充実や検査体制の確保、自宅療養者支援、区独
自病床の確保、ワクチン接種の推進などの事業を実施しました。
- 荒川区がん予防・健康づくりセンターにおいて、胃、肺、大腸と女性の乳房、子宮の5つのがん
検診を実施し、がんの早期発見につながる取組を推進しました。
- コロナ禍で増加が懸念されるフレイルの予防や、低栄養防止・口腔保健の向上等を目的とした
講演会を実施するとともに、認知機能の向上や引きこもり・孤立化防止を目的とした事業を実
施しました。また、高齢者の安心な入浴の確保事業など、自立した生活を支援し、介護予防の更
なる推進を図りました。

<主な成果指標>

指 標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
健康状態がよいと感じる区民の割合 (%)	46.0	47.0	50.0
要介護等認定者の出現率 (%)	19.3	20.2	21.6

② 子育て教育都市

この都市像には、保育園整備や子どもの健康に関わる子育て支援分野と、学校教育や生涯学習といった教育分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位:百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策03 子育てしやすいまちの形成	16,032	18,789
政策04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成	40,233	40,234
有形固定資産合計	56,265	59,023

【行政コスト】

(単位:百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策03 子育てしやすいまちの形成	21,713	22,978
政策04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成	6,569	6,949
行政コスト合計	28,282	29,927

- 「子育てしやすいまちの形成」では、保育所の整備を始め、様々な子育て支援事業を行っており、私立保育園等の運営費などにあたる扶助費が保育所4園の新規開設に伴い、増加しました。
- 「心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成」では、充実した学校教育の実施とともに、生涯学習活動の支援を行っており、そのうち約6割を学校教育関連の委託料等の物件費が占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 子ども達の生活の場である保育園、幼稚園、小中学校、学童クラブ等において、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら事業を継続しました。
- 小中学校においては、タブレットPC1人1台体制の下、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休校等による児童生徒への影響を考慮し、学校でも家庭でも学ぶことができるオンライン学習のための環境整備を図りました。
- あらかわ遊園の令和4年4月のオープンに向け、各事業者と連携しながら稼働に向けた運営体制の整備を進めました。さらに、各種事業啓発活動に伴う観覧車のライトアップや都電ラッピング車両の運行、テレビ番組の撮影等の受け入れ、定期的なSNSでの情報発信等により、オープンに向けた機運の醸成を図りました。

<主な成果指標>

指標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
地域子育て交流サロン延べ利用者数(人)	49,692	58,000	100,000
授業において、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している割合(%)	83.8	85.0	90.0

③ 産業革新都市

この都市像には、区内産業の発展や地域経済の活性化に関わる産業・観光分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策05 活力ある地域経済づくり	1,402	1,357
政策06 人が集う魅力あるまちの形成	3	2
有形固定資産合計	1,405	1,359

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策05 活力ある地域経済づくり	995	1,397
政策06 人が集う魅力あるまちの形成	70	92
行政コスト合計	1,065	1,489

- 「活力ある地域経済づくり」では、創業支援や就労支援を行っており、約7割を融資利子補給・信用保証料補助、経営力強化のための補助費等が占めています。
- 「人が集う魅力あるまちの形成」では、観光振興事業を行っており、約3割を観光イベントの実施費用等を含む物件費が占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、業績が悪化した区内事業者の経営の安定・維持を図るため、融資を受ける際の金利や信用保証料について負担軽減策を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として設備投資等を行う区内中小企業者に対し、経費の一部を助成しました。
- 区のイメージアップと誘客の推進を図るため、区ホームページやツイッターを活用するとともに、新たに「ことりっぷ日暮里」を作成し、書店等で無料配布する等、区の魅力を広く発信しました。また、元年度に作成した観光アプリ「あらかわさんぽ」に、新たに「デジタルスタンプラリー機能」を実装し、この機能を活用したスタンプラリーを開催することで、アプリ利用者の増加を図り、区内の回遊性を高め、地域経済の活性化につながる取組を推進しました。

<主な成果指標>

指標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
融資実行件数(件)	1,577	1,000	900
まちあるきマップ発行部数累計(千部)	2,150	2,213	3,017

④ 環境先進都市

この都市像には、リサイクルや地球温暖化に関わる環境・清掃分野と、公園整備といった生活環境分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策07 地球環境を守るまちの実現	3,023	2,967
政策08 良好で快適な生活環境の形成	226,167	227,318
有形固定資産合計	229,190	230,285

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策07 地球環境を守るまちの実現	3,437	3,515
政策08 良好で快適な生活環境の形成	2,774	2,743
行政コスト合計	6,211	6,258

- 「地球環境を守るまちの実現」では、地球温暖化対策や清掃リサイクル事業を行っており、そのうち約4割をごみの収集運搬等に係る物件費が占め、約3割を清掃一部事務組合に拠出する分担金にあたる補助費が占めています。
- 「良好で快適な生活環境の形成」では、宮前公園第一期部分のオープンに伴って有形固定資産が大幅に増加しました。また、行政コストの約3割を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 集団回収を実施する団体に対する報奨金の支給、集団回収を実施する町会に対する回収支援金の支給、持ち去り対策用物品購入補助金の支給などの支援策を継続して行いました。また、資源の持ち去り対策として、パトロール等を実施しました。
- 宮前公園の北側エリアについて、テニスコートやスイレン池、メドーガーデン等の整備を進め、令和4年4月に開園しました。また、都電通りから南側のエリアについて、病院と連携した健康づくりの拠点及び災害時の防災の拠点として、魅力あふれる公園となるよう、計画策定に向けた準備を進めました。さらに、町屋公園や南千住浄水場跡地についても、それぞれ、区民に親しまれる特色ある公園となるよう、計画の策定等を進めました。

<主な成果指標>

指標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
区施設温室効果ガス排出量(百トン/年-CO2)	123	112	94
区民1人1日当たりの総排出量(グラム)*	783	800	800
公園・児童遊園面積(ha)	44.8	45.3	48.0

*総排出量=総ごみ量+資源回収量

⑤ 文化創造都市

この都市像には、伝統文化や都市間交流、読書、スポーツといった文化・コミュニティ分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策09 伝統文化の継承と都市間交流の推進	3,486	3,331
政策10 活力ある地域コミュニティの形成	27,283	30,486
有形固定資産合計	30,769	33,817

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策09 伝統文化の継承と都市間交流の推進	920	926
政策10 活力ある地域コミュニティの形成	3,686	3,754
行政コスト合計	4,606	4,680

- 「伝統文化の継承と都市間交流の推進」では、伝統工芸技術の保存継承支援や交流都市等との都市間交流を行っており、イベント経費や文化施設の指定管理料といった物件費が約4割を占めています。
- 「活力ある地域コミュニティの形成」では、「ゆいの森あらかわ」の施設維持管理に要する委託料や区民施設の指定管理料を含む物件費が約5割を占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 区立施設や公園など区内各地に設置している彫刻について、区内全域を「あらかわ街なか美術館」と見立て、作品への二次元コードシール設置や観光アプリの彫刻紹介ページの充実により、彫刻作品の魅力を広くPRし、芸術文化による魅力ある街づくりを進めました。
- 乳幼児から高齢者まで幅広い世代が活動、交流できる地域コミュニティ施設「ふれあい館」について、新たに2館の整備を進め、東尾久本町通りふれあい館及びひぐらしふれあい館として、令和4年4月に開館しました。
- また、ゆいの森あらかわでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底しながら、各機能を有機的に連携させた事業を通じ、区民の生涯学習や子育て支援、コミュニティの醸成を図りました。

<主な成果指標>

指標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
ふるさと文化館利用者数(人)	16,797	15,000	24,500
ゆいの森あらかわのイベント等の参加者数(人)	2,076	3,630	40,000

⑥ 安全安心都市

この都市像には、防災・防犯分野と、再開発や交通といったまちづくり分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策11 防災・防犯のまちづくり	8,290	8,288
政策12 利便性の高い都市基盤の整備	6,609	6,768
有形固定資産合計	14,899	15,056

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策11 防災・防犯のまちづくり	2,861	2,364
政策12 利便性の高い都市基盤の整備	817	1,048
行政コスト合計	3,678	3,412

- 「防災・防犯のまちづくり」では、老朽木造住宅の建替えや除却、災害対策、犯罪抑止の事業を行っており、パトロール業務や不燃化特区推進事業に係る測量などの委託料を含む物件費が約5割を占めています。
- 「利便性の高い都市基盤の整備」では、再開発事業やコミュニティバス運営、放置自転車対策等の事業を行っており、自転車駐車場管理の指定管理料を含む物件費が約4割を占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 大規模地震発生時において、火災から住民の生命及び財産を守るため、不燃化特区である「荒川・南千住地区」及び「町屋・尾久地区」において、老朽木造建築物の建替えや除却の促進による地域の不燃化、公園・広場等のオープンスペースの整備、主要生活道路の拡幅整備、都市計画道路整備等を重点的かつ集中的に取り組み、燃えない・燃え広がらない災害に強い街づくりを推進しました。
- 市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用、住環境の整備、都市機能の更新及び駅前地区の活性化を目指し、三河島駅前北地区及び西日暮里駅前地区において、市街地再開発事業を推進しました。また、両地区とも令和3年6月に都市計画決定するとともに、準備組合に対し、事業計画作成（基本設計、建物調査等）に係る費用の一部を支出しました。

<主な成果指標>

指標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
不燃領域率（荒川・南千住地区）(%)	65.1	65.7	70超
不燃領域率（町屋・尾久地区）(%)	64.1	64.8	70超
市街地再開発事業の進捗率(%)	82	83	100

⑦ 計画推進のために

議会や選挙、総務、広報、窓口サービス、財政といった分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策13 区民の主体的な区政参画と連携強化	0	0
政策14 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進	1,178	476
政策15 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	4,505	4,606
有形固定資産合計	5,683	5,082

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度
政策13 区民の主体的な区政参画と連携強化	841	813
政策14 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進	24,634	2,390
政策15 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	2,977	2,860
行政コスト合計	28,452	6,063

- 「区民の主体的な区政参画と連携強化」では、協働の推進の他に、選挙や議会の運営を行っており、全体の約1割を占める物件費の多くは、区民参画に係る事業に要した経費にあたります。
- 「積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進」では広報や窓口サービス、事務監査の事業を行っています。行政コストの大幅な減少の主な要因は、令和2年度の特別定額給付金の事業終了によるものです。
- 「目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進」では行財政運営や人材育成、公共施設の管理といった事業を行っており、その約5割を業務系システム等の保守や、庁舎の維持管理等に係る委託料にあたる物件費が占めています。

<令和3年度の主な取組>

- 全政策・施策・事務事業の評価を実施し、コストを意識した効果的かつ効率的な区政運営を図るとともに、区民サービスの向上に向けた取組を推進しました。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大時等の業務継続性の確保や執務室の密集状況の改善を図るためのテレワークシステムの構築、職員研修のオンライン化等を進めました。
- 広報の分野では、令和3年7月にLINE公式アカウントを開設しました。また、電子ブックアプリ「カタログポケット」を活用したあらかわ区報の配信を開始し、自動翻訳機能により日本語を含む10言語対応が可能になりました。

<主な成果指標>

指 標	令和3年度	(見込み) 令和4年度	(目標値) 令和8年度
区政に関心がある区民の割合 (%)	59.8	60.0	60.0
ホームページ訪問回数 (月平均)	562,472	573,700	617,700
職員に対する感謝の声の件数 (区民の声) (件)	77	80	100
実質公債費比率	5%未満	5%未満	5%未満